

## 宗像市民図書館だより

No.106

令和元年11月発行

URL: <https://munakata.milib.jp/>

秋といえば、読書の秋！そして食欲の秋！！

食が進むこの季節☺ おいしいご飯が登場する本をご紹介します。



『おいしいものには理由がある』  
樋口 直哉 KADOKAWA  
2017年

料理人であり小説家である作者が、日本の食べ物について勉強するため、食材の生産者や職人を訪問し、人々の物語を通して日本の食を紹介します。ダイヤモンド・オンライン連載「ニッポン 食の遺餐探訪」に加筆し書籍化。



『浮世絵に見る江戸の食卓』  
林 綾野 美術出版社  
2014年

うなぎを口にしようとする女性、東海道の茶店でとろろ汁をかき込む旅人、大鉢に沈む白玉をすくう女性など、食を描いた浮世絵から江戸時代の食事情をひも解き、浮世絵鑑賞へ導きます。当時の文献を手掛かりに江戸の料理も紹介しています。



『文学はおいしい。』  
小山 鉄郎 著  
ハルノ 宵子 画  
作品社 2018年

文学作品の時代背景や作中の食べ物・飲み物の成り立ちを紹介しています。吉本ばなな『キッチン』のカツ丼、夏目漱石『こころ』のアイスクリーム、村上春樹『ノルウェイの森』のキュウリの海苔巻きなど、おいしい料理と文学作品が取り上げられています。



『キャベツ炒めに捧ぐ』  
井上 荒野  
角川春樹事務所  
2011年

東京の小さな町のささやかな商店街にある惣菜屋「ここ家」では、郁子・江子・麻津子3人が働いています。ゆり根のがんもどき・さつまいもとイカの炒め煮など美味しい惣菜と、3人の様々な感情や思い出が描かれた小説です。



11月 は 宗像市読書月間 です

楽しいイベントをたくさん企画しています。

是非ご参加ください♪ 詳細はチラシをご覧ください。

